

株式会社パスコ【9232】 2023年3月期第2四半期 決算説明会





会社紹介動画をご覧ください。



株式会社パスコ【9232】 2023年3月期第2四半期 決算説明会



代表取締役社長 島村 秀樹 / 常務取締役 宮本 和久

プログラム

【1】 会社概要

常務取締役 宮本 和久

【2】 連結決算の概要と業績予想

常務取締役 宮本 和久

- ・連結決算の四半期毎の推移
- ・決算概要
- ・部門別事業概要と決算の状況
- ・2023年3月期連結業績予想

【3】 中期経営計画の達成に向けて

代表取締役社長 島村秀樹

【4】 事業活動の状況

代表取締役社長 島村秀樹

【1】 会社概要

会社概要

会社名

株式会社パスコ

代表者

代表取締役社長 島村 秀樹

株式上場

東京証券取引所 スタンダード市場 （証券コード：9232）

事業内容

人工衛星、航空機、車両などを使って国内外の空間情報を収集
社会の課題解決の目的に合わせて加工・処理・解析を施し、
さらに必要な情報を付加した空間情報サービスを提供

連結売上高

565億円 （2022年3月期）

グループ従業員数

連結： 2,847名（2022年9月末現在）

本社

東京都目黒区下目黒1-7-1 パスコ目黒さくらビル

創業

1953年10月27日（設立1949年7月15日）

主な株主

セコム株式会社

1999年8月 セコムグループ入り

信頼される安心を、社会へ。

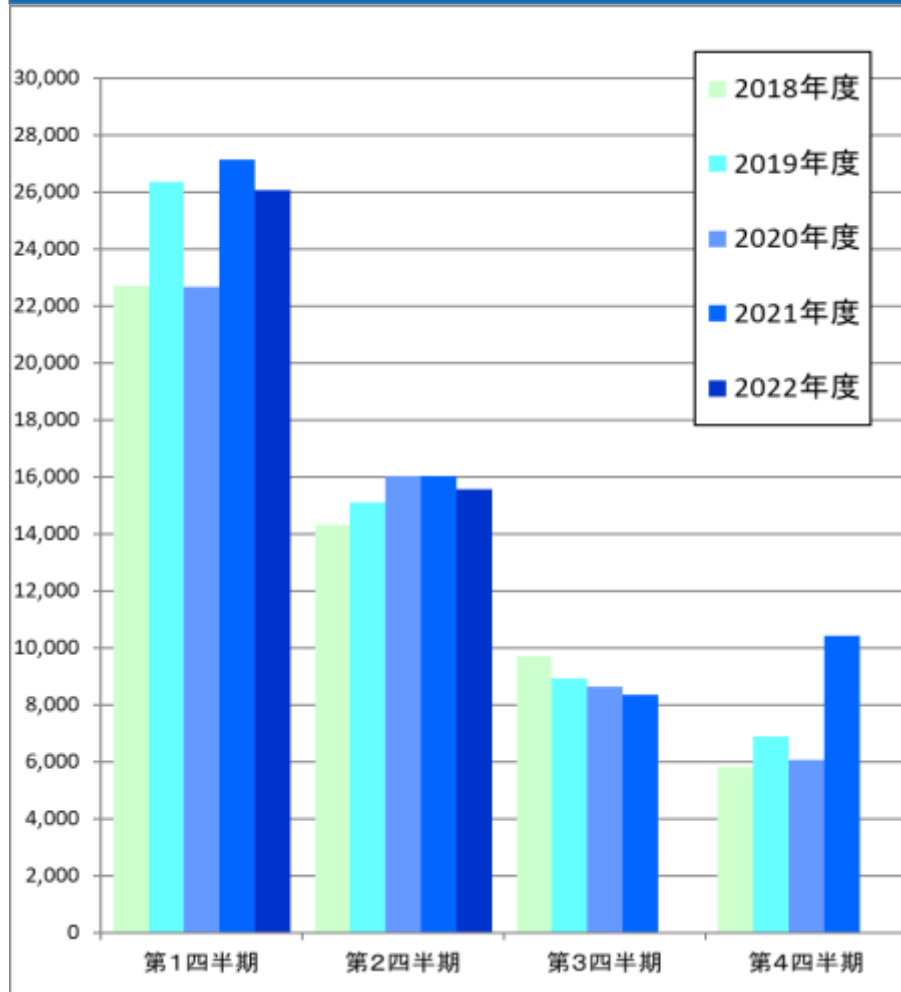


【2】 連結決算の概要と業績予想

- 連結決算の四半期毎の推移
- 決算の概要
- 部門別事業概要と決算の状況
- 2023年3月期連結業績予想

連結決算の四半期毎の推移

＜連結＞ 四半期毎の受注高の推移



1

受注高は、当社の主要顧客である官公庁からの受注により、第1四半期に集中しております

2

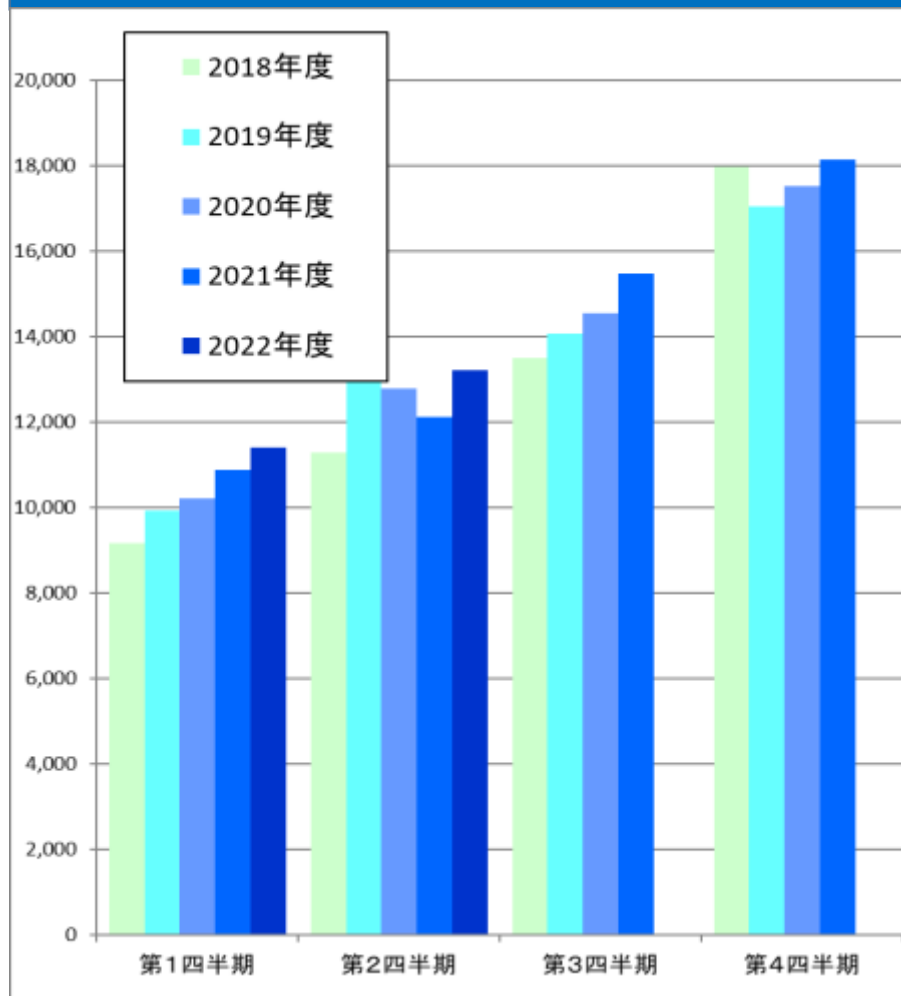
売上高は、官公庁の納期が年度末に集中するため、第4四半期に向けて徐々に増加する傾向にあります

3

営業利益は、年度末の納期に向け収益が下半期に急増する一方、上半期は赤字計上となる傾向があります

連結決算の四半期毎の推移

＜連結＞ 四半期毎の売上高の推移



1

受注高は、当社の主要顧客である官公庁からの受注により、第1四半期に集中しております

2

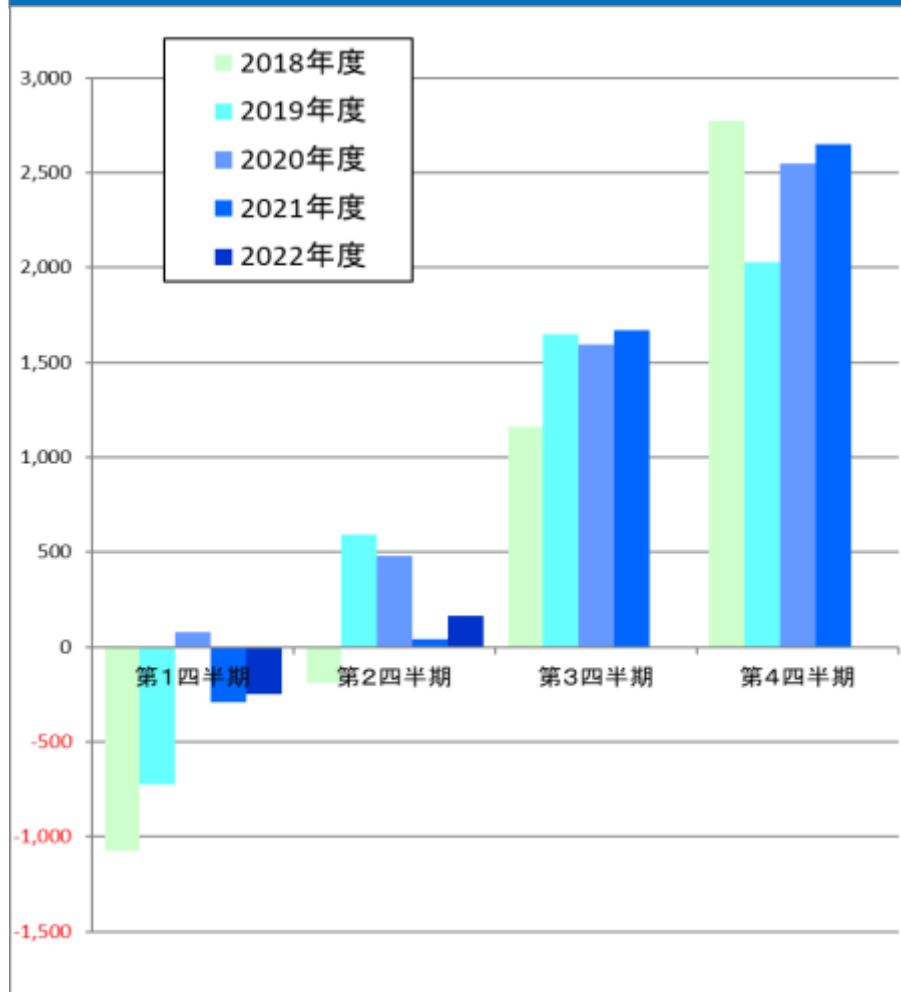
売上高は、官公庁の納期が年度末に集中するため、第4四半期に向けて徐々に増加する傾向にあります

3

営業利益は、年度末の納期に向け収益が下半期に急増する一方、上半期は赤字計上となる傾向があります

連結決算の四半期毎の推移

＜連結＞ 四半期毎の営業利益の推移



1

受注高は、当社の主要顧客である官公庁からの受注により、第1四半期に集中しております

2

売上高は、官公庁の納期が年度末に集中するため、第4四半期に向けて徐々に増加する傾向にあります

3

営業利益は、年度末の納期に向け収益が下半期に急増する一方、上半期は赤字計上となる傾向があります

連結決算の概要

(単位：百万円、百万円未満切捨て)

	前期 2022年3月期 第2四半期連結累計期間	当期 2022年3月期 第2四半期連結累計期間	増減
売上高	22,964	24,598	1,634
売上原価	17,965	19,156	1,191
売上総利益	4,999	5,442	443
販売費及び 一般管理費	5,250	5,524	274
営業損益	-251	-81	170
経常損益	-267	-16	251
親会社株主に帰属する 四半期純損益	-225	681	906

対前期比で国内公共部門、海外部門の増収により7.1%増加しました。

人件費の増加とコロナ禍以前の営業活動に戻つつあることから、販管費は増加しました。

人員の増加等による労務費、人件費の増加はあるものの、期首受注残を順調に消化したことにより営業損失は減少しました。

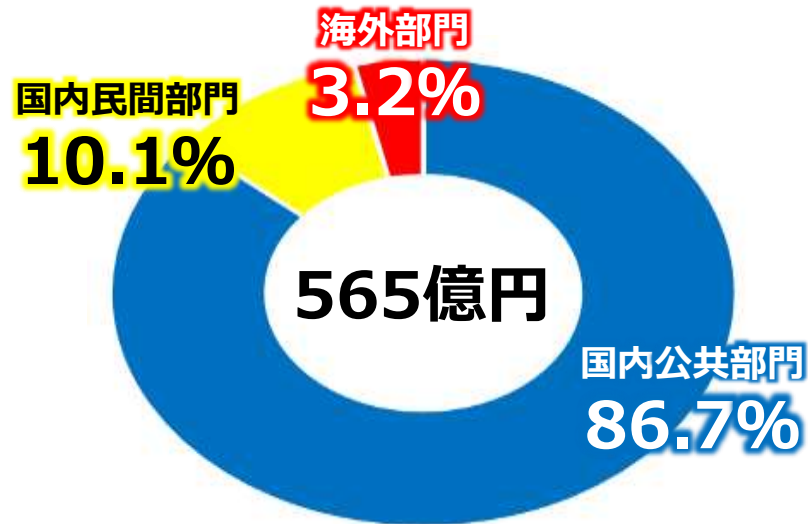
特別利益に、不動産売却による固定資産売却益1,096百万円を計上しています。

部門別 決算概要

(単位：百万円、百万円未満切捨て)

	2023年3月期第2四半期連結累計期間				受注残高	
	受注高	前年同期比	売上高	前年同期比	残高	前年同期比
国内部門	39,771	-5.5%	23,267	+4.6%	42,254	+4.8%
(公共)	37,457	-4.1%	20,423	+6.2%	36,690	+6.4%
(民間)	2,313	-23.1%	2,843	-5.1%	5,564	-5.1%
海外部門	1,843	+69.3%	1,331	+82.6%	1,489	+26.6%
合 計	41,614	-3.6%	24,598	+7.1%	43,744	+5.4%

部門別事業概要と決算の状況



売上構成比：2022年3月期の実績より

海外部門

世界で展開する空間情報事業

- 国土空間データ基盤整備（航空撮影、地図整備等）
- 環境保全・災害対策
- 道路維持管理
- 海外子会社における測量・GIS関連事業など

国内公共部門

行政機関を顧客とする空間情報事業

- 行政業務の効率化支援
- 固定資産税評価関連業務
- 道路、上下水道などのインフラ維持管理業務
- 都市計画・防災計画の策定業務
- 住民サービスの向上と地方財政の健全化支援など

国内民間部門

民間企業を顧客とする空間情報事業

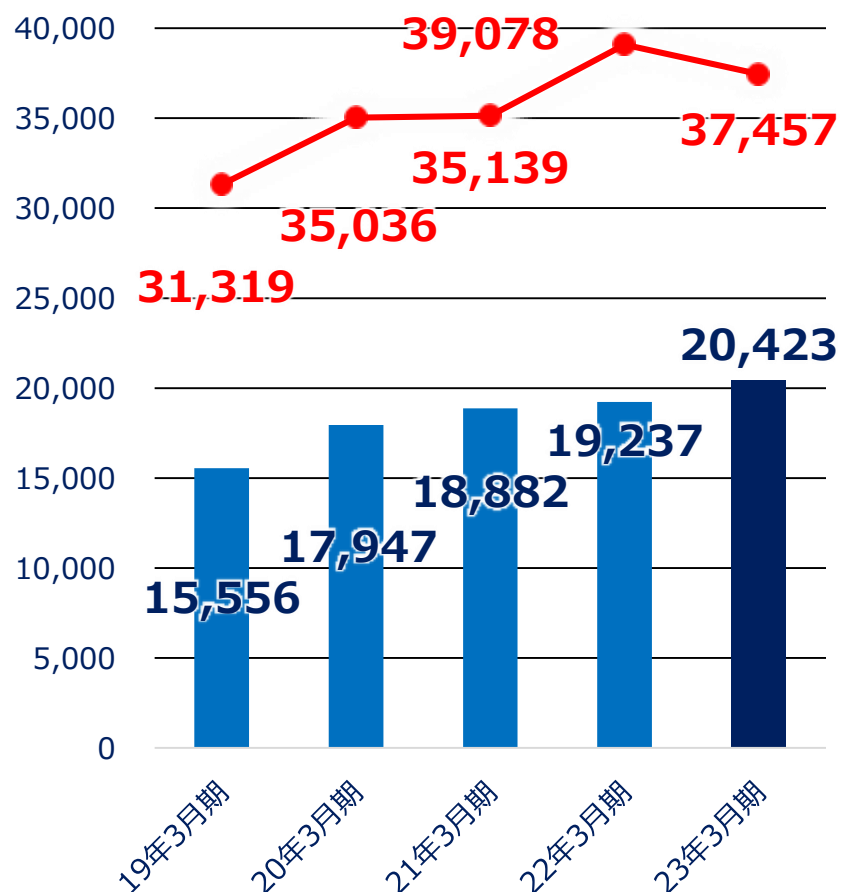
- 物流の効率化支援
- 企業の自然災害対策支援、BCP策定支援
- 出店計画や商圈分析などのエリアマーケティング支援
- 営業行為の効率化支援など



国内公共部門

● 受注 ■ 売上

(単位：百万円／百万円未満切捨て)



受注高

3,7457百万円

(4.1%減)

売上高

20,423百万円

(6.2%増)

1

前期に受注した大型の航空レーザー測量業務の反動減により受注高は減少

2

3次元計測、行政DXのデジタル化、固定資産評価関連業務が堅調に推移

3

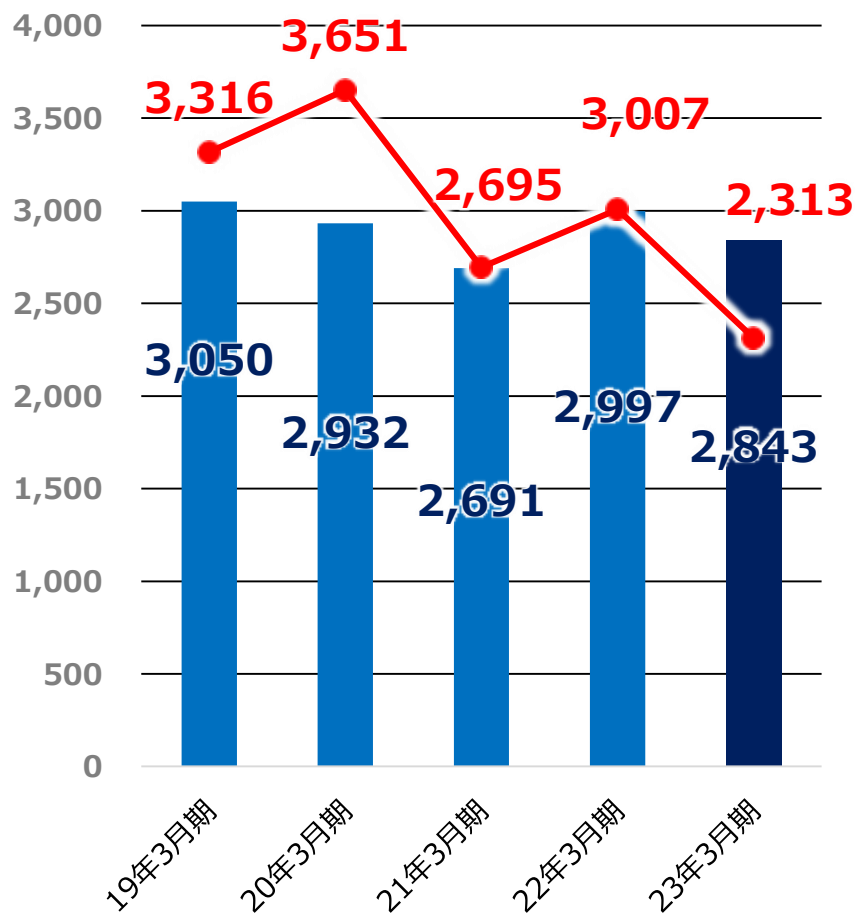
前期受注業務の生産が進展、大型の衛星データ受信業務も加え売上高増加



国内民間部門

● 受注 ■ 売上

(単位：百万円／百万円未満切捨て)



受注高

2,313百万円

(23.1%減)

売上高

2,843百万円

(5.1%減)

1

前期に受注した不動産業界向けクラウドサービスの大型案件による反動減

2

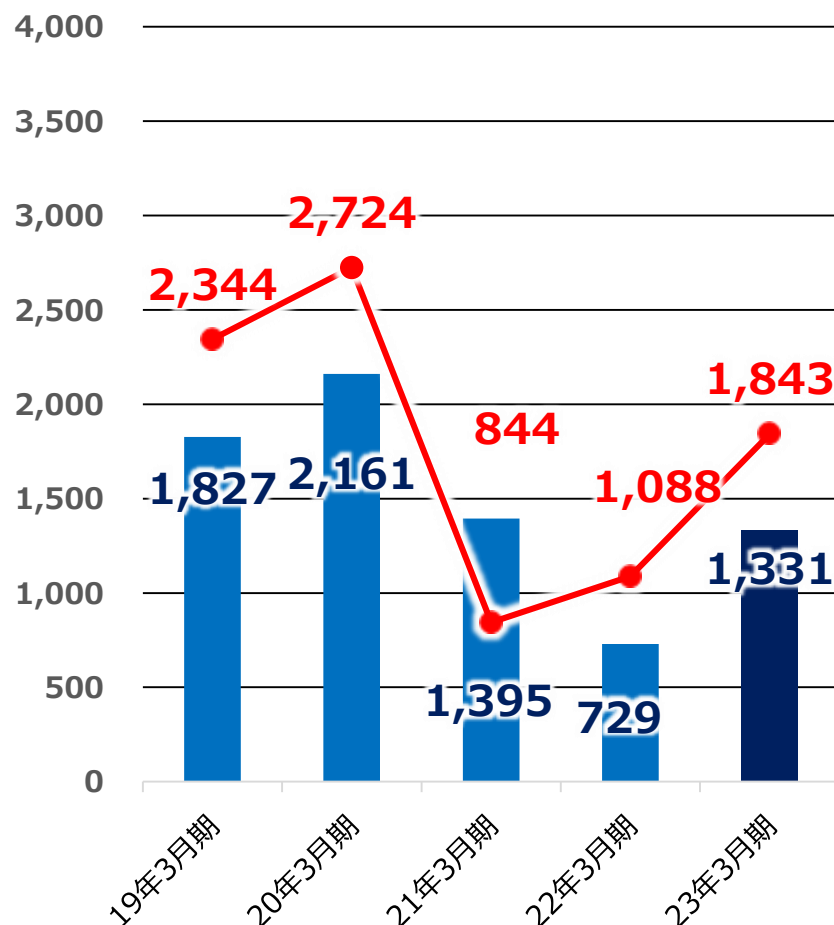
受注減少によって、部門全体としては減収となった



海外部門

● 受注 ■ 売上

(単位：百万円／百万円未満切捨て)



受注高

1,843百万円

(69.3%増)

売上高

1,331百万円

(82.6%増)

1

航空測量業務の大型案件により受注増

2

インドネシア子会社の大型案件により受注増

3

3次元地図データ整備業務が好調

2023年3月期連結業績予想

(単位：百万円／百万円未満切捨て)

	2022年3月期実績	2023年3月期予想値	前期比増減	
売上高	56,565	57,900	1,335	2.4 %
営業利益	4,069	4,000	△69	△1.7 %
経常利益	4,113	4,000	△113	△2.8 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,459	3,400	941	38.3 %
年間配当金（1株あたり）	40円	45円	5円	12.5%

業績予想に対する解説

- 1) 連結売上高は順調に推移しており、連結業績予想の達成を見込んでいます。
- 2) 連結営業利益も順調に推移しており、連結業績予想の達成を見込んでいます。

上記により中期経営計画で掲げる営業利益40億円の達成を目指す

【3】中期経営計画達成に向けて

パスコグループ中期経営計画 2018-2022

持続的な企業成長に向けた利益体質への変革

〈目標〉

2022年度 グループ^o連結営業利益額を倍増

(2017年度のグループ^o連結営業利益額20億円から40億円に)

〈方針〉

データ流通社会の到来に向けた事業戦略の転換

空間情報の可視化・分析・流通を中心とした新たなサービスモデルへの事業シフト
継続契約型ビジネスと業務請負型ビジネスとの両輪による事業展開

新たな空間情報の活用を見据えた将来への投資

AI、IoT、ロボティクス、ブロックチェーン等の
次世代ツールの導入による自動化、高度化の実現

目標達成に向けたシナリオ

中期経営計画の達成イメージ

初期（計画1年目）

計画を具体的に実行するための移行期間と位置づけ、組織体制や仕組み・制度を構築

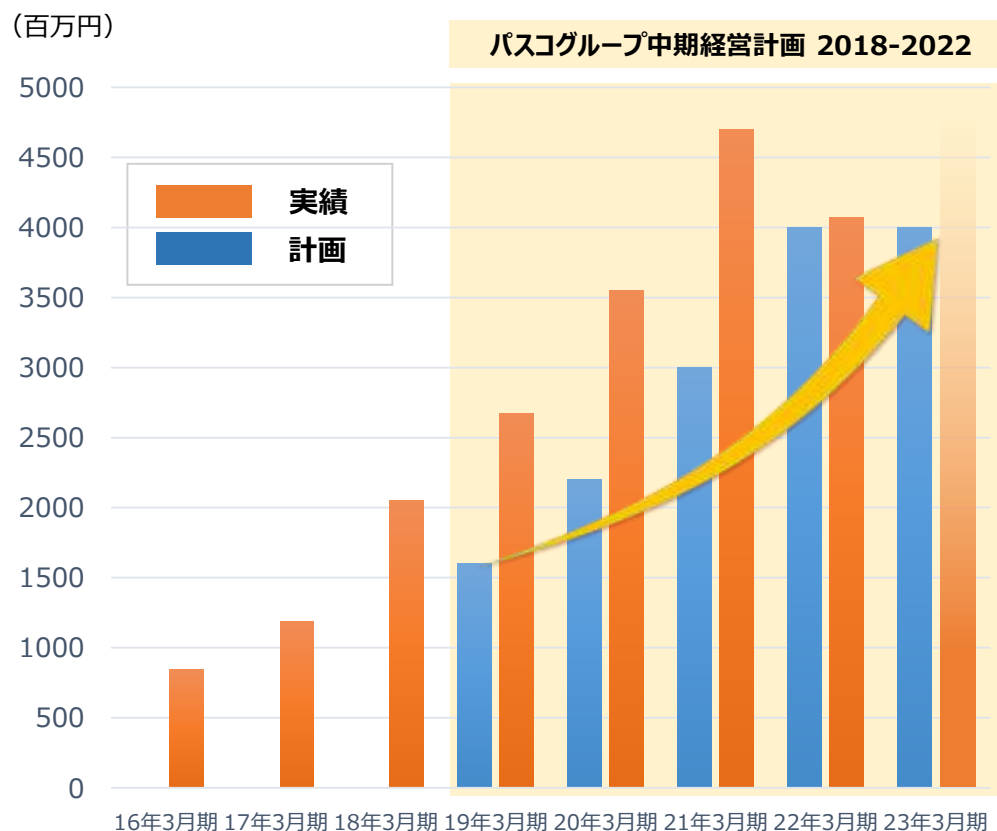
前期（計画2～3年目）

収益性の高い経営体質への抜本的な改革に向けて、計画的かつ戦略的に投資

後期（計画4～5年目）

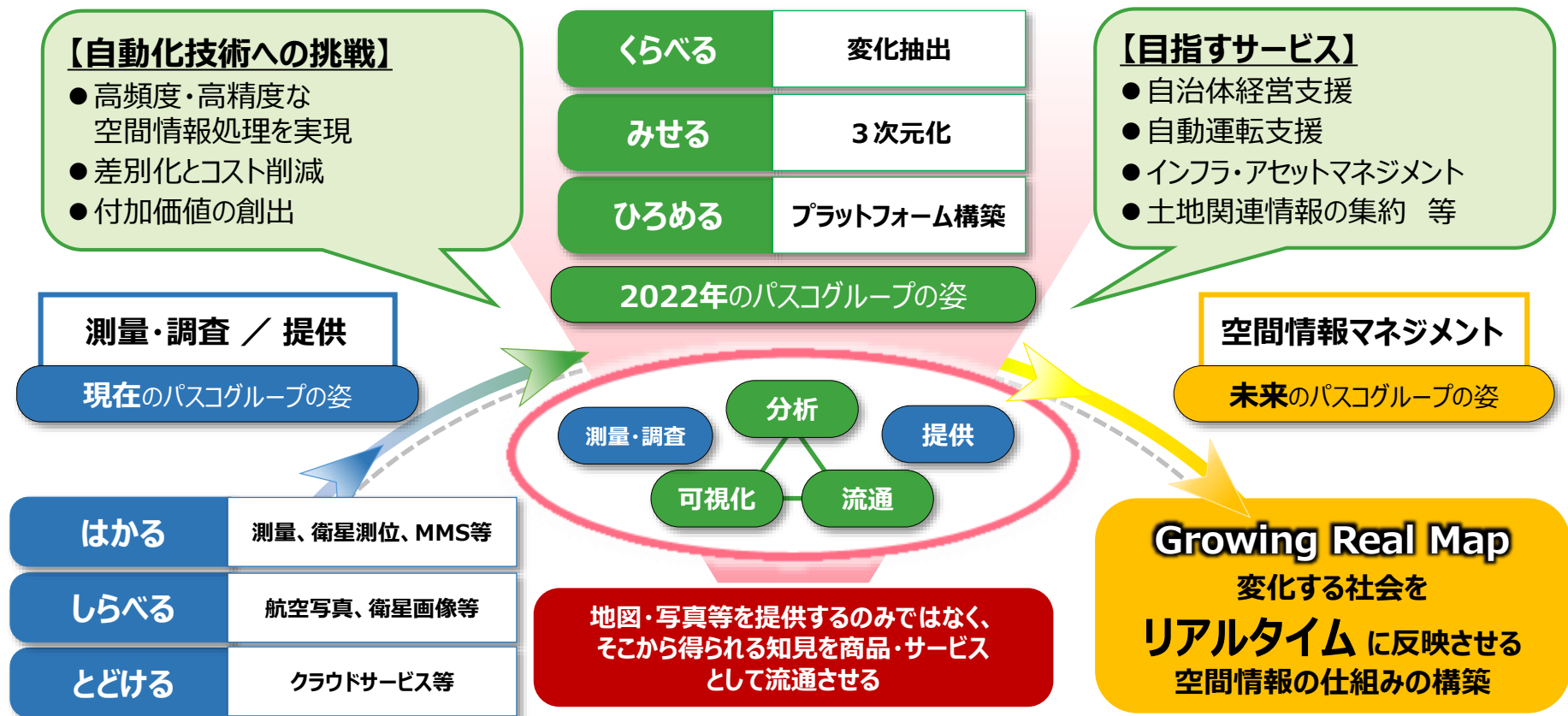
これまでの戦略的投資を回収ステージへ転換すべく、より実行性を高める取り組みへ

グループ連結営業利益額の推移



パスコグループの目指す姿

自動化技術の確立により、付加価値サービスを提供



IoT・AIなどICTによる“Growing Real Map” 構築

デジタルツイン

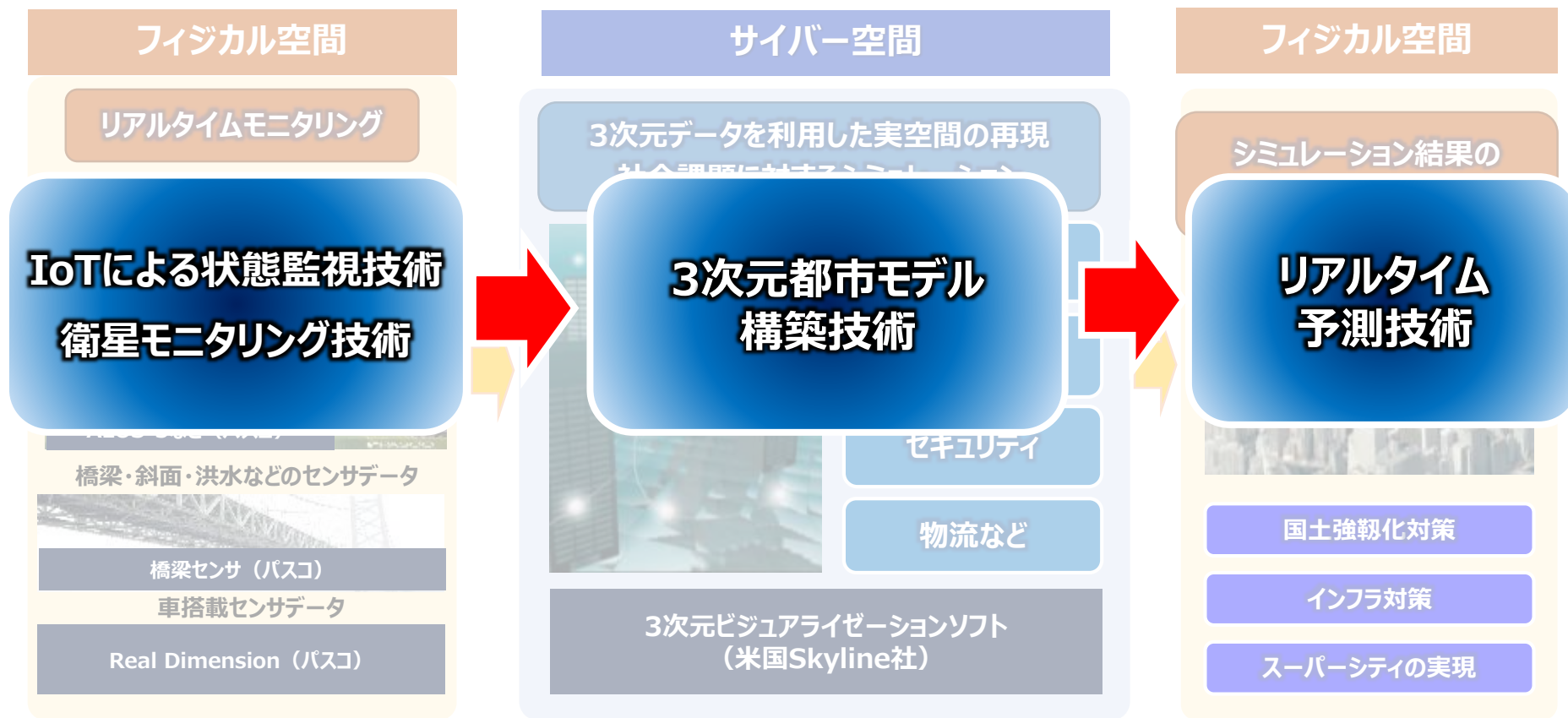
変化する社会のすべてをリアルタイムに反映させる空間情報の仕組み



IoT・AIなどICTによる“Growing Real Map”構築

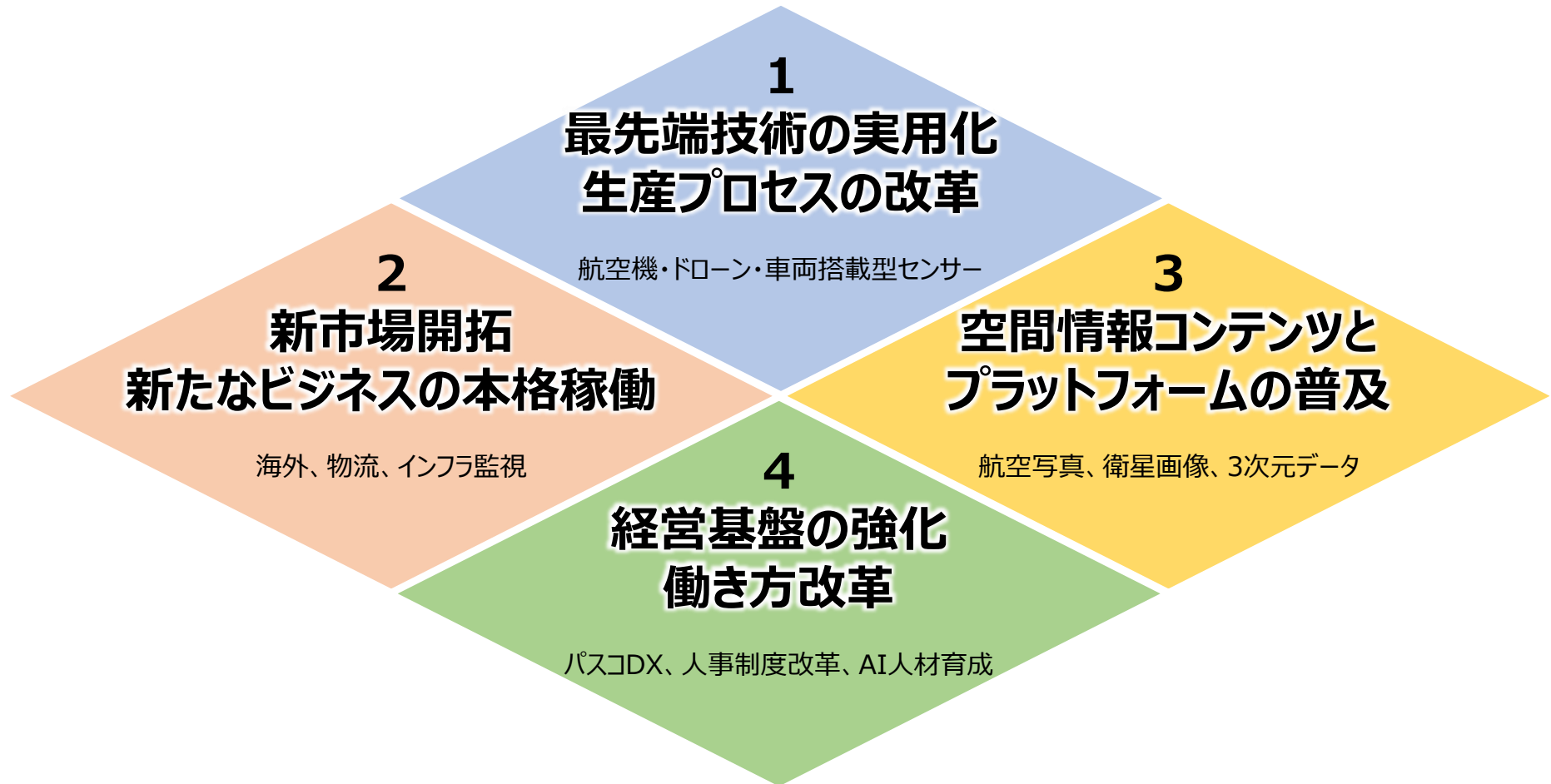
デジタルツイン

変化する社会のすべてをリアルタイムに反映させる空間情報の仕組み



2023年3月期の方針

「中期経営計画」達成に向けた最終年度



1

最先端技術の実用化 生産プロセスの改革

航空機・ドローン・車両搭載型センサー



**高精度化によるデータ容量の増加
データ処理の設備とプロセスを改革することで
信頼性と生産性向上の両立を目指す**

2 新市場開拓 新たなビジネスの本格稼働

海外、物流、インフラ監視

海外

日系企業向けサービス
衛星付加価値サービス
ODA案件サービス

物流

サプライチェーンの全体最適化
幹線輸送から地場配送までを
一気通貫でサポート

インフラ監視

自律飛行ドローンやIoT技術
を活用した自動化・省力化
を支援するサービスの始動

これまでの経験と最先端の技術を生かし
新たな市場開拓に挑戦し
持続的な企業成長を目指す

3

空間情報コンテンツと プラットフォームの普及

航空写真、衛星画像、3次元データ

航空写真

Vexcel社

衛星画像

ALOSシリーズ

3次元

Skyline社

競争優位性を発揮できる空間情報コンテンツと
プラットフォームの提供により
空間情報ソリューションの拡大を目指す

4

経営基盤の強化 働き方改革

パスコDX、人事制度改革、AI人材育成

パスコDX

デジタル技術を活用して、
社内の業務・組織・プロセスの
あり方を持続的に評価し、
継続的に改善

人事制度改革

「人材を育てる」
「しなやかマインドを助長する」
評価に重点をおく、
評価制度への改革を継続

AI人材育成

より実践的な人材育成を目指し、
「AI実践チャレンジプロジェクト」
を新設し、
社内コンテストを開催予定

デジタルトランスフォーメーション
と働き方改革の推進により
持続的成長を可能にするニューノーマル時代への対応を目指す

【４】事業活動の状況

1

最先端技術の実用化
生産プロセスの改革

新潟市空間情報処理センター

データ処理能力向上と事業継続リスク低減に向けて生産拠点を新設 新潟市に空間情報処理センターを開設

2022年7月に開設、10月から業務の本格稼働に備え、人材教育や設備の充実を進行中

※以下は、2022年9月時点のオフィスの様子



防災コンソーシアム「CORE」

業界の垣根を越え、災害に負けない強靱な社会の構築を目指して
2021年11月に発足し、パスコは創立メンバーとして参画

※2022年9月末現在、参加企業は合計71社に拡大中



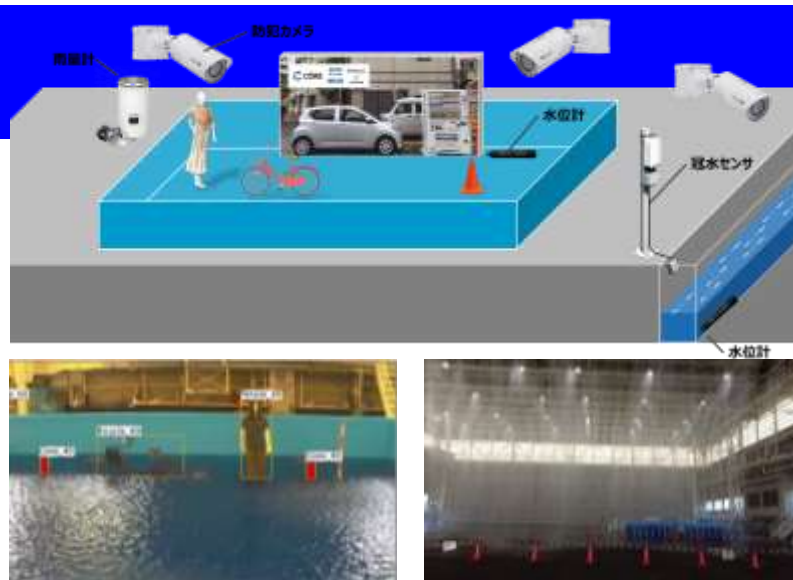
<https://www.bosai-core.jp/>

リアルタイムハザードマップ分科会

参画企業：応用地質(株)、セコム(株)、(株)パスコ、東京海上日動火災保険(株)

2022年5月19日に大型降雨実験施設で
実施した実証実験の様相（右図）

パスコは、
防犯カメラなどの撮影画像から浸水深を把握
するAI解析モデルを開発



2

新市場開拓

新たなビジネスの本格稼働

次世代TMS「LogiSTAR Geospatial LINKS」

動画で紹介

**Geospatial（空間情報）とLogistics（物流）を連携させ
輸配送業務におけるSCMの部分最適から全体最適化へ進化**

※2022年6月から、先行して2サービスの提供を開始



次世代TMSサービスのラインナップ

- 【-Line】 中長距離の幹線輸送
- 【-Local】 地場配送からラストワンマイルまで
- 【-Status】 ドライバーの配送進捗を管理
- 【-Eyes】 輸送情報を“見える化”
- 【-Brain】 最適ルート計算エンジン



暮らしの安全をまもる IoT インフラ遠隔監視サービス 自社開発のセンサーで道路橋の変状を24時間遠隔監視

※2023年4月からサービス開始

Infra Eye™

インフラの老朽化対策に対応した新サービス

- 桁端部と橋台の遊間にセンサーを設置
- 日常的でない変位値を検知した際に、自動でお客様に通知
- センサーのレンタルとメンテナンス、データ通信とデータ閲覧サービスを含めた定額制サービス



試験設置しているセンサー

政府が推進するデジタルデータの標準化と管理・運営システムのクラウド化方針に応える、企業連携サービスを提供

※2023年4月からサービス開始



株式会社パスコ（セコムグループ）

- 自治体の行政業務を総合的に支援する「PasCAL」を提供
- PasCALシリーズは、LGWAN上から約700の自治体で導入

株式会社管総研（クボタグループ）

- 水道事業におけるコンサルティングとシステムソリューションの豊富な実績
- WATERSシリーズは、200超の自治体に導入

※LGWAN：総合行政ネットワーク

森林整備の促進と境界明確化の調査作業効率を向上 ハード、ソフト、サーポート一式を定額サービス方式で提供

※2022年8月からサービス開始

SmartSOKURYO® POLE

1) 効率向上

従来2・3名で行っていたコンパス測量の半分以下の人員と時間で
現地調査を完了

2) 精度向上

通信可能な森林内ではセンチメートル級の測位が可能
通信状況が悪い森林内でも、2周波マルチGNSSレシーバと高性能
アンテナで1～3mの精度を確保

3) 定額サービス

本体、スマートフォンとアプリ、通信サービスとソフトウェア、サポートサイト
などをすべてまとめ、1年または3年の契約



※GNSS：米国GPS、日本準天頂衛星（みちびき）などの衛星測位システムの総称

3次元データの表現に優れた「TerraExplorer」日本語版の販売開始 広域から屋内まで、3次元の仮想空間を快適操作

※2022年8月から販売開始



スカイライン社の3次元ビジュアライゼーションソフトを完全日本語化



大容量データの快適な操作環境を実現。

デジタルツインによる仮想空間で
さまざまなシミュレーションや解析を可能に。



地上システム開発、運用・データ販売を含めた事業を実施 衛星データの利活用を推進し、宇宙産業を促進

※2022年度内に打ち上げ予定



先進光学衛星「ALOS-3」

- ▶ 大型化・高性能化したセンサーを搭載
- ▶ 広い観測幅（直下70km）
- ▶ 高い地上分解能（直下80cm）を実現



パスコグループは、
持続的な企業成長に向けた利益体質への変革に
今後も取り組んでまいります



株式会社パスコ <会社プロフィール>

【創業年月】	1953年10月
【事業所】	本社 東京都目黒区（全国59事業所）
【代表者】	代表取締役社長 島村 秀樹
【資本金】	87億5,848万円（2022年3月末現在）
【連結売上高】	565億円（2022年3月期）
【従業員数】	連結：2,847名、単体：2,354名（2022年9月末現在）
【グループ会社】	連結子会社：10社、関連会社：1社（2022年3月末現在）
【主な株主】	セコム株式会社

■ IRに関するお問い合わせ E-mail：9232-IR@pasco.co.jp

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載された今後の戦略や予測等は、資料作成時点において弊社が合理的と判断したものです。

実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があり、そのとおりに実現することを保証するものではありません。また、本資料は今後予告なしに変更されることがあります。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。